



平成 29 年 6 月 19 日

香川大学法学会講演会のお知らせ

主催：香川大学法学会
共催：香川大学法学部

香川大学法学会は、法や政治を幅広い視野で考えるために、毎年学外からゲスト・スピーカーを招いて講演会を開催してきました。

今回は、弁護士の久貝克弘氏をお招き致し、弁護士過疎地域における弁護士の役割と課題についてご講演頂きます。本学の学生・院生・教員その他、学外からの参加も歓迎します。

演題： 弁護士過疎地域における弁護士の役割と課題
講師： 久貝克弘 氏（弁護士）

日時：平成 29 (2017) 年 7 月 5 日（水）16：20～17：50

場所：香川大学法学部 第 3 講義室（幸町南 6 号館 2 階）

参加費：無料

※ご来学の際は、公共交通機関をご利用下さい。

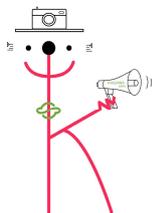
<講演者紹介>

久貝克弘（くがいかつひろ）氏

沖縄県の石垣島出身。

2004 年香川大学法学部卒業後、2010 年に旧司法試験に合格。弁護士過疎地域の解消を目指す日弁連などの支援で 2016 年 3 月に開所した「高梁ひまわり基金法律事務所」（高梁市弓之町）の所長。

同市では 1985 年以來となる常駐の弁護士になり、地域の依頼者の相談を受ける一方、原発被災者弁護団に参加するなど、地域を超えた活動も行っている。



問い合わせ先 香川大学法学部 山本陽一研究室 (TEL 087-832-1709)

香川大学法学部資料室 (TEL 087-832-1744)